

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	川窪 吉男（30）	<p>1. 富士市立中央病院に高気圧酸素治療装置(HBO)の導入について</p> <p>高気圧酸素治療装置とは、専用の医療機器を使用し大気圧より高い気圧によって酸素を体内に取り込み、病態の改善を図る治療機器であります。</p> <p>私たちは通常、大気圧の下で、酸素濃度21%の空気を吸って生活しています。呼吸によって取り込んだ酸素は血液中のヘモグロビンと結合し全身に運ばれます。</p> <p>一方、高気圧酸素治療は大気圧よりも高い気圧環境で、高濃度の酸素を吸入する治療です。これにより、血液中に直接溶け込む酸素が大幅に増加します。ヘモグロビンを介さずに酸素が運ばれますので、貧血などに影響されることもなく、全身の酸素不足が解消されます。</p> <p>この治療器が適応する疾患名は、急性期医療では、急性一酸化炭素中毒、空気塞栓または減圧症、脳梗塞、また、難治性疾患では、脳血管障害、重症頭部外傷、開頭術後の意識障害等多くの適応症があります。</p> <p>こうした中、日本では高齢化が進み、高齢化率を見ますと、1994年に14%でしたが、2018年には28%と進んでいます。富士市では2011年（平成23年）に21.29%でしたが、2021年（令和3年）には28.03%となっています。</p> <p>このような高齢化の進む中、様々な病気、疾病が発生しています。高齢者に多い疾患名として虚血性心疾患、閉塞性動脈硬化症、脳血管障害、高血圧、糖尿病、慢性腎不全などが挙げられています。中年から80歳までの、上位3位までの疾患名は、大きな変化は見られませんが、80歳を過ぎますと脳血管障害の割合が多く見られます。</p> <p>高気圧酸素治療装置を導入することにより、脳血管障害をはじめとする疾患患者が後遺症を残すことなく、社会復帰ができるとの臨床結果が多くの病院で出ています。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) この装置の導入についての見解を伺います。</p> <p>(2) 適応疾患を述べましたが、脳血管障害（脳梗塞）の救急患者は年間何人運ばれてくるのか、お伺いたします。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	小沢 映子（27）	<p>1. 「ひきこもり白書2021」から見えるひきこもり支援について ひきこもりの方は富士市で約2300人いると推計される。 実態のなかなかつかめなかったひきこもりの状況について、当事者団体が大々的に調査した結果、「ひきこもり白書2021」として刊行された。</p> <p>白書によると、生きづらい状況の軽減や改善を感じるのは、安心できる居場所が見つかったとき、との回答が50%以上あった。しかし、年齢制限や金銭的なハードルなど制約があり、成人でも就労寄りの社会復帰ありきではなく、本人に居場所と自己肯定感を与えるような支援が望まれている。様々な傷つき体験があり、力を失っている状態で窓口にとどり着くには想像を超える多くの困難があることが浮き彫りになった。生きづらさの原因に親との関係を挙げる人が半数近くおり、当事者への家族の接し方や関係改善の工夫の必要性もさらなる課題である。</p> <p>(1) 国は、ひきこもり支援推進事業において、相談窓口の認知の重要性と、身近な市町村でのひきこもりの支援の充実強化を積極的に取り組むよう通知している。国も県も様々な施策を打ち出しているが、一番身近な市町村が支援の役割を担うことが期待されている。そこで以下質問する。</p> <p>① 広報、ウェブサイト、支援機関などを通して、ひきこもりの支援情報を切れ目なく届ける必要があるが、富士市ではどのように情報提供をしているのか。</p> <p>② 子ども・若者育成支援推進法での対象年齢を超過した40歳以上の中老年のひきこもりの方の相談窓口は明確になっているのか。また、ひきこもりの改善や軽減に効果のある安心できる居場所は用意できるのか。</p> <p>③ 国は県・政令市でのひきこもり地域支援センターの設置義務を課しているが、最も身近な市町村での支援の充実を求めている。富士市でのひきこもり地域支援センターに当たる中核を担う組織はどうなっているのか。</p> <p>④ ひきこもり当事者への支援では家族支援が極めて重要になっている。富士市での家族支援の状況と実績を伺う。</p> <p>(2) ひきこもりの早期介入・支援についての必要性を多くの支援者が痛感している。支援の遅れや状況把握の困難さが、ひきこもりの長期化・重篤化にもつながっている。</p> <p>不登校、いじめ、ひきこもり、自殺、生徒指導上の課題が深刻化していて、学校現場の負担は年々増加している。そこで全ての子供がアクセスする学校を「プラットフォーム」として考えるという試みは、今や様々な課題を抱える子供を支援するための取組として欠かせぬものになっている。</p> <p>自己否定に陥る子供・若者への支援は学齢期からも必要である。専門家間で、福祉と教育現場のより確かな連携が不可欠と言われているが、富士市での現状を伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
16	小沢 映子（27）	<p>① 福祉の専門家としてのスクールソーシャルワーカーが、学校を窓口とした福祉関連機関等との連携を図っていると思われるが、充足しているのか。</p> <p>② デジタル変革宣言をしている富士市では、ICTを利用して幼児期から学齢期までの支援情報を記録し、さらに、青年期以降につなげ、活用することはできないのか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
17	山下いづみ（19）	<p>1. 国勢調査で使用した調査用品の取扱いについて</p> <p>令和2年10月、総務省統計局から地方自治体へ「令和2年国勢調査における調査終了後の調査用品の取扱いについて」の通知が出された。従来は市町村事務要領等に基づいて、焼却等により処分することとしていたが、2020年の国勢調査で使用された手さげ袋などの調査用品については、社会的に有効活用する観点から、公的機関またはボランティア団体等と連携し悪用防止に配慮しつつ再利用できるというものである。</p> <p>他の自治体で取り組まれた国勢調査用品再利用事業を自治体ホームページやニュースで散見する。SDGs推進が叫ばれている昨今、国勢調査用品の再利用はぜひとも取り組むべきことである。そこで3点質問する。</p> <p>(1) 国勢調査用品の有効活用について</p> <p>① 国勢調査で使用された手さげ袋は何個か。手さげ袋はどのように利活用されているのか。利用に工夫した点はあるか。</p> <p>② 国勢調査で使用した下敷き、指導員証・調査員証ケース、筆記具セットはどのように活用されているのか。</p> <p>(2) 今後、どのような取組をしていくのか。</p> <p>2. 富士ジュニアオーケストラを民間ボランティア運営から公営にするにはいかがか</p> <p>富士ジュニアオーケストラは今年14周年を迎える。本年5月に開催された東京オリンピック・パラリンピックに向けた開催100日前イベントではスイス、ラトビア、モンゴルの楽曲演奏で会場の皆様に感動を届けたことは記憶に新しい。「豊かな心と協調性を育てる。地域の文化向上に寄与する。音楽を世界に発信する」ことを目的に2007年に当楽団代表の茅原初子氏発案で富士市教育委員会・富士市文化振興財団後援、富士フィルハーモニー管弦楽団の協力の下に発足した。この14年の間、約300名が巣立ち、若手が育ちつつある。毎年の定期演奏会ではOB・OGの音大出身者や国内外の富士市、及び富士市近郊出身の演奏家のゲスト出演なども実現している。そして、富士市・富士川町合併記念式典、国際交流の集い、中国嘉興市青少年友好親善使節団、富士市・嘉興市友好都市提携25周年記念式典などで演奏を披露し、本市の式典や国際親善に寄与してきた。運営は発足時からボランティアで行われており、近年では運営人員の方々の高齢化などで存続の危機となっている。本市の音楽を通じた青少年の育成、芸術文化振興、国際親善の継続、発展のためには富士ジュニアオーケストラの継続が望まれる。富士ジュニアオーケストラを本市主体の公立運営にするにはいかがか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
18	小池 義治（10）	<p>1. NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で注目される鎌倉時代初期の史跡について</p> <p>2022年放送予定のNHK大河ドラマは、平安時代末期から鎌倉時代前期を描いた「鎌倉殿の13人」（脚本：三谷幸喜、主演：小栗旬）である。ドラマ内に本市にちなんだ場所が登場するかは現時点で不明だが、直接の登場はなくとも、鎌倉初期の時代に全国的な注目が集まることが予想される。本市には、平家越など源平合戦に由来する場所があるほか、同時代の曾我物語の舞台でもあり、ドラマタイトルにある「13人」のうちの1人、和田義盛を祭った神社があるなど、数多くの史跡が存在する。今後、大河ドラマをきっかけにした文化・観光振興及びシビックプライドの向上を期待し、以下、質問する。</p> <p>(1) 「鎌倉殿の13人」に関連した施策を行う予定はあるか。</p> <p>(2) 市内にある幾つかの鎌倉初期の史跡では（市で管理していないものも含め）案内板の劣化が激しいものも見受けられるが、これを機に改善してはどうか。</p> <p>2. 富士駅北口に建設予定の公益施設を3階建てにする必要性はあるか</p> <p>富士駅北口周辺地区約1.9ヘクタールにおいて、道路・駅前広場の一体的な整備を進める富士駅北口再開発事業は今年度、市民向けの都市計画説明会が行われ、再開発事業のうち駅前敷地約0.9ヘクタールの部分は市が実施主体となり公益施設として整備し、1階を公共交通待合フロア、2階をコミュニケーションカフェフロア、3階を遊びと学びのフロアとする概要が資料として示された。</p> <p>約30年後までのスパンで、本市にはこのほかにも、総合体育館の建設、富士市立中央病院の建て替え、富士市役所本庁舎の建て替えなどの大規模かつ重要な公共施設の更新が控えており、少子高齢化の進展による財政状況の逼迫も勘案すれば、建設に多額の公費支出を伴い、維持コストがかかり続ける富士駅北口の公益施設は必要最低限とすべきではないだろうか。</p> <p>2015（平成27）年4月策定の富士市公共施設マネジメント基本方針では、「建築物の改築周期1回分に相当する今後65年間における更新費用は、平均すると年間約47億円になります。これに対し、過去5年間の平均更新費用は約31億円であり、長寿命化を図ったとしても年間約16億円不足することが見込まれます。」とあり、将来にわたり持続的に公共サービスを提供していくため、今後40年間で一般公共建築物の延床面積を20%削減するという目標を掲げている。</p> <p>現段階での説明を聞く限りにおいて、公益施設のうち、遊びと学びのフロアとする3階部分の必要性には疑問を感じ、2階建て以下の建設とする選択肢も検討すべきと考え、以下、質問する。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
18	小池 義治（10）	<p>(1) 富士駅北口に公益施設を造ることにより、一般公共建築物の延床面積は増加するが、公共施設マネジメント基本方針との整合性をどのように捉えているか。</p> <p>(2) デジタル技術の進化は急激なものであり、コンピューターがウェアラブル（装着可能）になったり、IoT（モノのインターネット）の進展など、ユビキタスコンピューティング（いつでもどこでもコンピューターが存在し、環境に溶け込むことで消えているように見える）時代に向かう中で、「デジタルをその場所に行って体験する行為」は陳腐で時代錯誤になっていくように思える。都市計画説明会において、公益施設の3階フロアを、子供たちがデジタル体験できる施設とすることを一例として挙げていたが、この詳細について伺う。</p> <p>(3) GIGAスクール構想により、タブレット端末が1人1台整備され、新学習指導要領でプログラミング教育が必修化されてもなお、児童生徒がプログラミングを学んだりデジタルに触れたりするハコモノ施設が必要と考えるか、教育委員会としての見解を伺う。</p> <p>(4) アフターコロナの時代、またデジタル変革社会においては、一極集中の都市構造よりも、多極分散の拠点が互いに結びつき全体として補完し合うモデルのほうが、本市に適していると考えます。富士駅北口の公益施設3階フロアのコネクトで示された「子どもの遊び場のほか、プログラミングやものづくり体験のできる学びのスペース、子どもや若者が、交流し多様な活動を展開できる交流スペースや間仕切り可能な多目的室」という機能は、富士駅から徒歩7分の富士市交流プラザや、既に体験館どんぶらを有する道の駅富士川楽座、富士市教育プラザ、まちづくりセンター、児童館など既存施設への追加投資によっては実現できないものか。</p> <p>(5) 2015年4月策定の公共施設マネジメント基本方針では、「病院は、24時間365日使用している特殊な利用形態であるため、大規模な改修を実施できず、施設及び設備の劣化が進行しています。人命を預かる施設のため、早急に新規整備を含めた更新計画を検討する必要があります。」とある。富士駅北口再開発に対する多額の公費支出と起債の償還は、富士市立中央病院の建て替え時期にも影響すると危惧するが、新病院建設を先延ばししてまで公益施設3階の「遊びと学びのフロア」をつくる必要性は薄いと考え、今後の富士駅北口再開発事業の基本計画策定の中では、2階建て以下とする選択肢も検討するよう提案したい。市長の見解を伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>1. 学校・公共施設の女子トイレ（個室）に生理用品を常備することについて</p> <p>6月定例会に続いて質問します。</p> <p>コロナ禍による経済的な困窮で生理用品が買えない「生理の貧困」問題について、NHKのおはよう日本やクローズアップ現代などで、「学生の5人に1人が生理用品の入手に苦労している」など「生理の貧困」が広がっている実態を報道して以降、この問題は急速にクローズアップされ、自治体などで支援が広がりつつあります。7月時点で約580自治体が無償配布または検討しているほか、民間企業の支援も進んでいるとの新聞報道もあります。</p> <p>一般社団法人“人間と性”教育研究協議会（東京）代表幹事の金子由美子さん（埼玉県川口市立中学校の元養護教諭）は「辛い思いをしてきた子どもたちは昔からいる。子どもの貧困にジェンダーの視点は欠かせない。隠されてきたことに目を向けられたことは良いことで、いいきっかけになればと思う」と述べています。</p> <p>また、2021年4月、国際NGOプラン・インターナショナルが、日本の15歳から24歳の2000人を対象に行った調査では、「生理用品を購入できなかつたり、ためらつたりした」と答えたのは約36%、717人。そのうちの12%が「生理期間中、毎回または頻繁に学校や職場を休む」などしていることが分かった。メンバーの長島美紀さんは「生理の貧困は、金銭的な話に行きやすいけれども、どちらかという機会喪失。女性が生理によって外に出られなくなる。可能性を広げたい、チャンスをもっと活かしてみたいと思っても、可能性の芽が取られてしまつたり、広い意味で考えると機会喪失になってしまう」と述べています。</p> <p>富士市では本年4月から、こども家庭課や生活支援課、ユニバーサル就労支援センターや社会福祉協議会などで生理用品の無料配布を行っています。前回の一般質問の時には、6月15日までに合計170セットを配布し、今後も継続していくことでした。</p> <p>学校での支援体制は、生理用品が必要になった児童生徒に対して「さくらカード」を用意して、担任や養護教諭に「さくらカード」を提示して保健室で受け取れるようにして、10セット支給したとありました。</p> <p>トイレの個室に生理用品を置くことは、衛生面での課題があることや、支援対象外の児童生徒が利用することもあり、生活困窮支援と趣旨が異なる。生理用品を保健室に常備することによって、衛生的な管理が可能となるとともに、養護教諭が生徒の様子をうかがいながら渡すことで、児童生徒に寄り添い、困っている状況を把握することが可能となることから、さらなる生活困窮支援や家族問題の支援等にもつながっていくと考えるので、今後も保健室を通しての支援を継続し</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>ていくとのことでした。</p> <p>保健室に取りに行けばという大人目線の発想はどうなのでしょう。子供たちは、月経という体の現象に出会ったばかりで戸惑いも大きいものがあります。また、思春期ゆえの恥ずかしさは誰もが経験しているのではないのでしょうか。そこに男子生徒がいたら恥ずかしくて言えないなど、子供にもプライバシーがあると思います。保健室に取りに来なさいというスタイルではなく、トイレにトイレットペーパーが常備してあるように、生理用品も常備することは、経済的に苦しい子供にとっての支援にもなりますし、どの子も安心して学校生活を送ることにつながります。</p> <p>女性の健康や尊厳に関わる問題にもかかわらず、タブー視され実態が見えづらかったのが、よく知られるようになりました。</p> <p>女性の生理は、人類が子孫を残すための必要不可欠な生理現象です。生理用品がなければ経血を垂れ流すことになるので、生理用品は生活必需品です。常備することで心身の健康を守ることができます。安心して日常生活を送るために、以下質問いたします。</p> <p>(1) これまで「さくらカード」を利用して、生理用品を配布した数はどれくらいでしょうか。保健室での利用状況についても伺います。また、この支援策について、どのように受け止めているのでしょうか。</p> <p>(2) 生理の貧困だけでなくジェンダーの問題として捉え、市として学校を含む公共施設の女子トイレ（多目的トイレも含む）の個室に、トイレットペーパーと同じように生理用品を常備する考えはないのでしょうか。</p> <p>(3) 生理の問題は、「女性だけの問題」という意識がまだ強いと思います。意識を変えるためにも、また相手を思いやることから教育の力は大きいと考えます。児童生徒に向けてどのような取組をされているのでしょうか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長